

授業概要

科目名		精神障害治療学演習				授業の種類	演習	講師名				
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年	後期
【授業の目的・ねらい】 精神障害領域における代表的な疾患に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。												
【実務者経験】 作業療法士として、精神科作業療法、精神科デイケア、司法分野として、刑事施設における作業療法に従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 疾患ごとに作業療法の方法論を理解する。実際の評価、治療アプローチについて模擬ケース等を通して経験する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 精神障害と作業療法との関係を述べるができる 評価・プログラム立案等を考え、行うことができる												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
2	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
3	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
4	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
5	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
6	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
7	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.3）										教科書ほか	
8	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.3）										教科書ほか	
9	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.3）										教科書ほか	
10	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.4）										教科書ほか	
11	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.4）										教科書ほか	
12	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.4）										教科書ほか	
13	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.5）										教科書ほか	
14	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.5）										教科書ほか	
15	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.5）										教科書ほか	
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 山根寛著/精神障害と作業療法新版　三輪書店												
【準備学習・時間外学習】 精神医学で学んだ症候や疾患を前提にの学修を行いますので、十分に精神医学で学んだことは復習しておいてください。												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 試験は課題を30点、定期試験を70点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する。												